

趣旨説明 13:00-13:15 **〈東京会場プログラム〉**

総論 1 13:15-14:00 **「都市化とそれにともなう危機：開発，廃墟そしてローマをとりまく状況について」**
 URBANISM AND ITS RISKS: INVESTMENT, RUINS, AND THE ROMAN STATE
 レイ・ローレンス PROF. RAY LAURENCE マッコーリー大学教授 (古代史)

総論 2 14:00-14:45 **「ローマ法の道路行政」** ROMAN HIGHWAY LAW
 佐々木 健 PROF. TAKESHI SASAKI 京都大学教授 (古代ローマ法)

各論1 ポンペイ 14:45-15:30 **「ポンペイおよびエルコラーノの窓ガラス」**
 WINDOW GLASS IN POMPEII AND ERCOLANO
 藤井 慈子 DR. YASUKO FUJII イタリア在住研究者, 小川 拓郎 MR. TAKURO OGAWA 九州大学

各論2 ポンペイ 15:30-16:15 **「ドアからドアへ、ポンペイとヘルクラネウムにおける古代ローマ建築の施錠器具とそのメカニズムとその他安全装置にみる技術の観察」**
 GOING FROM DOOR TO DOOR:
 TECHNICAL OBSERVATIONS ON THE DESIGN OF ROMAN CLOSURE FURNISHINGS,
 LOCKING MECHANISMS, AND ARCHITECTURAL SECURITY DEVICES AT POMPEII AND HERCULANEUM
 エヴァン・ブラウドフット DR. EVAN PROUDFOOT 博士

各論3 オスティア遺跡調査報告 16:15-17:00 **2017・2018年度オスティア・グラフィッティ調査報告**
 THE GRAFFITI SURVEY REPORT AT OSTIA ANTICA IN 2017 AND 2018
 奥山 広規 DR. HIROKI OKUYAMA 岡山理科大・広島商船高
 豊田 浩志 PROF. KOJI TOYODA 上智大学名誉教授

各論4 オスティア 17:00-17:45 **「ローマ時代の建設現場における事故と危機管理」**
 HAZARDS AND RISK MANAGEMENT
 IN ROMAN CONSTRUCTION
 ジャネット・ディレーン DR. JANET DELAINE
 ディレクター,
 ウォルフソン・カレッジ・オックスフォード大学

各論5 オスティア 17:45-18:30 **「オスティアにおける都市と洪水」**
 URBANIZATION AND FLOODS IN OSTIA
 堀 賢貴 PROF. YOSHIKI HORI
 九州大学教授

コメントと質疑応答 18:30-19:00 **陣内 秀信** PROF. HIDENOBU JINNAI
 法政大学名誉教授



第3回連続国際シンポジウム 3RD INTERNATIONAL COLLOQUIA
 "RISK MANAGEMENT IN ANCIENT ROME"

「古代ローマの危機管理」

3月17日(日)

東京 13:00 - 19:00
 於：日本橋ライフサイエンスビル
 9階 913 会議室 日英逐次通訳付

本国際シンポジウムは2015-18年セコム科学技術振興財団研究助成「古代ローマ帝国の防災・防犯マネジメント」、2018-20年基盤研究(A)(一般)「ポンペイとオスティア:古代ローマにみる建築術の総体としての都市と技術の大衆化」(研究代表者：堀賢貴九州大学教授)の成果の一部として開催されるものです。

主催：九州大学大学院人間環境学研究院 都市・建築学部門 建築・都市史研究室
 協賛：九州大学大学院人間環境学研究院
 後援：一般社団法人 日本建築学会

連絡先：九州大学大学院人間環境学研究院 都市・建築学部門建築・都市史研究室
 Tel: 092-802-5184 (直通) Fax: 092-802-5297 e-mail: hori@arch.kyushu-u.ac.jp

〒819-0395 福岡市西区元岡744九州大学イーストゾーン1号館A-329
 HP: <http://history.arch.kyushu-u.ac.jp/HAU/lab0/>